

令和5年度

「基礎学力調査」

－ 結果の概要 －

令和5年7月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3

II 調査結果

1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《小学校第6学年 英語》	12
《中学校第3学年 社会》	14
《中学校第3学年 理科》	16
2 質問紙調査結果	18
《小学校第4学年》	18
《小学校第6学年》	22
《中学校第3学年》	24
《小学校教員》	26
《中学校教員》	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	197校	200校	84校
実施児童生徒数	8,699人	8,946人	8,780人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科・英語	社会・理科
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
集計・分析対象者数	4,256人	4,521人	2,371人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校（義務教育学校を含む）における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	65 校	33 校
実 施 教 員 数	1,088 人	649 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

令和5年4月17日(月)

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3限		英語（30分）	
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により、児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

※ 正答率とは、全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く、概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

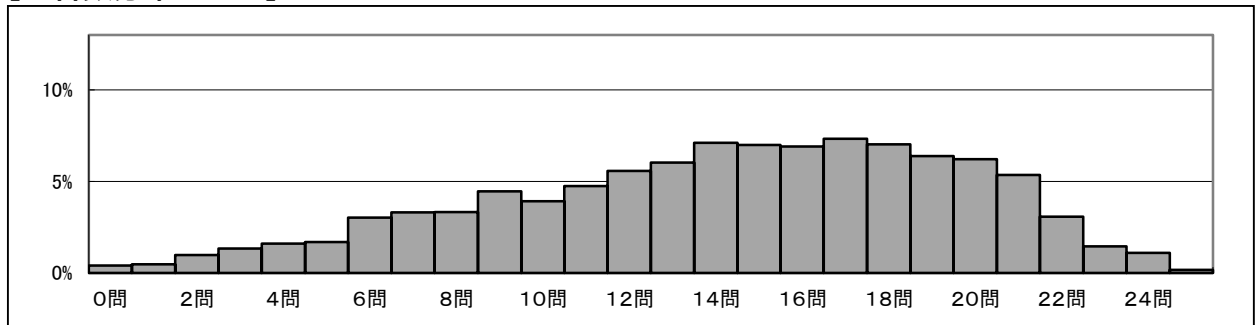
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

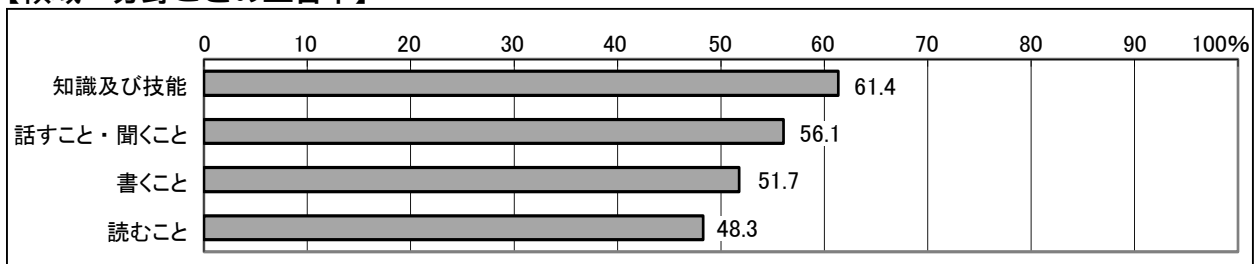
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,259 人	56.9%	14.2 問 / 25 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 7④	漢字の読み (起きる)	95.3
2 7③	漢字の読み (旅行)	94.5
3 5②	ローマ字の読み (mokkin)	84.4

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 1 3	問の取り方 (話すこと)	26.9
2 2 4	考えの形成	28.4
3 3 1 (1)	国語辞典の使い方	29.3

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 3 1 (1)	国語辞典の使い方	17.8
2 8 2	構成の検討、考えの形成、記述、推敲	14.2
3 3 2	指示語	11.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：小学校3年生までに担当されている漢字を読むこと〔7③、④〕 ▽：小学校2年生までに担当されている漢字を書くこと〔7①、②〕 ▼：主語と述語との関係について理解すること〔3 3〕 <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えること〔1 4〕 ▼：話の中心や話す場面を意識して、問の取り方を工夫すること〔1 3〕 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽：相手や目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること〔8 1〕 ▼：自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること〔8 2内容〕 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること〔2 3〕 ▼：文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと〔2 4〕
--

【各設問の正答率等】

小学校第4学年(国語)

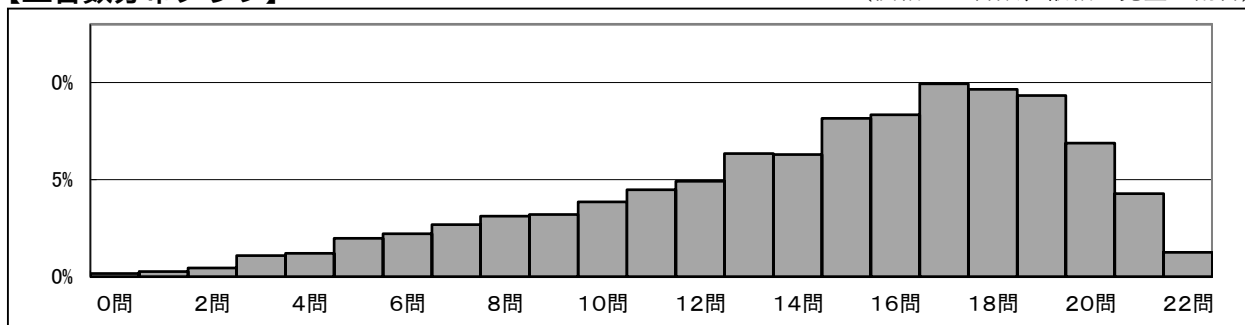
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合 (%)				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	話すこと 聞くこと	話の構成(話すこと)	○			45.9	45.9	0.0	52.9	1.2
		表現の工夫(話すこと)	○			75.1	75.1	0.0	23.8	1.2
		間の取り方(話すこと)	○			26.9	20.3	6.6	63.4	9.7
		話の中心(聞くこと)	○			76.3	76.3	0.0	19.6	4.1
2	読むこと	説明的文章の精査・解釈	○			57.3	54.2	3.1	37.1	5.6
		説明的文章の精査・解釈	○			57.8	57.8	0.0	36.4	5.8
		説明的文章の構造と内容の把握	○			49.6	49.6	0.0	46.2	4.2
		考えの形成	○			28.4	28.4	0.0	67.0	4.6
3	知識及び技能	国語辞典の使い方	○			29.3	29.3	0.0	52.9	17.8
		語彙	○			39.5	39.5	0.0	53.3	7.2
		指示語	○			59.4	59.4	0.0	29.2	11.4
		主語と述語との関係	○			39.9	39.9	0.0	50.0	10.1
4	知識及び技能	修飾と被修飾との関係	○			60.2	60.2	0.0	31.9	7.9
5	知識及び技能	ローマ字の書き(うで)	○			45.1	45.1	0.0	49.1	5.8
		ローマ字の読み(mokkin)	○			84.4	84.0	0.4	8.2	7.5
		ローマ字の読み(kaisya)	○			79.0	79.0	0.0	13.0	8.0
6	知識及び技能	筆順(母)	○			48.4	48.4	0.0	46.4	5.2
7	知識及び技能	漢字の書き取り(ゆみや)	○			64.0	64.0	0.0	31.6	4.4
		漢字の書き取り(ならす)	○			58.7	58.7	0.0	33.3	8.1
		漢字の読み(旅行)	○			94.5	94.5	0.0	2.5	3.1
		漢字の読み(起きる)	○			95.3	95.3	0.0	2.3	2.4
8	書くこと	集めた材料の比較や分類	○			62.9	62.9	0.0	29.1	8.0
		構成の検討(条件)	○			61.3	61.3	0.0	24.5	14.2
		考えの形成、記述(内容)	○			39.8	37.9	1.9	46.0	14.2
		推敲(表記)	○			43.0	27.6	15.4	42.8	14.2

《小学校第4学年 算数》

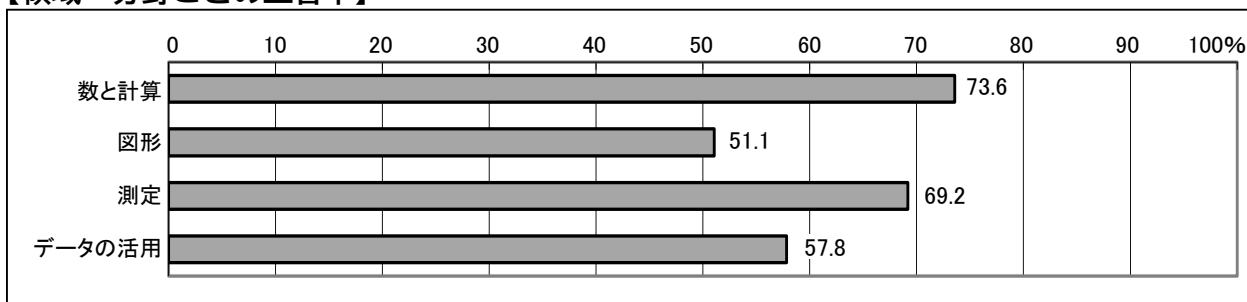
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,258 人	66.0%	14.5 問 / 22 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2 (1) 重さと適切な単位	96.8
2	1 (1) 繰り上がりのある加法計算	93.7
3	1 (2) 波及的繰り下がりのある減法計算	83.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4 長方形の定義【事実】	10.5
2	3 (2) 簡単な二次元表の数値の意味【事実】	38.8
3	8 直方体の辺の数と頂点の数の理解	51.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	9 (2) 正時をまたいだ時間の求め方	12.4
2	6 (2) 余りのある除法、余りの処理【理由】	12.3
3	4 長方形の定義【事実】	10.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【数と計算】

- ：整数や小数の四則計算をすること〔1〕
- ：図に示された数量の関係を読み取ること〔2(4)〕

【図形】

- ▼：長方形の定義について理解すること〔4〕
- ▼：箱の形の辺と頂点の数について理解すること〔8〕

【測定】

- ◎：重さについて適切な単位を理解すること〔2(1)〕
- ▼：必要な情報を用いて、指定された長さを求めること〔9(1)〕

【データの活用】

- ▽：データを分類整理し、表に表すこと〔3(1)〕
- ▼：表の意味を理解し、表を読むこと〔3(2)〕

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年(算数)

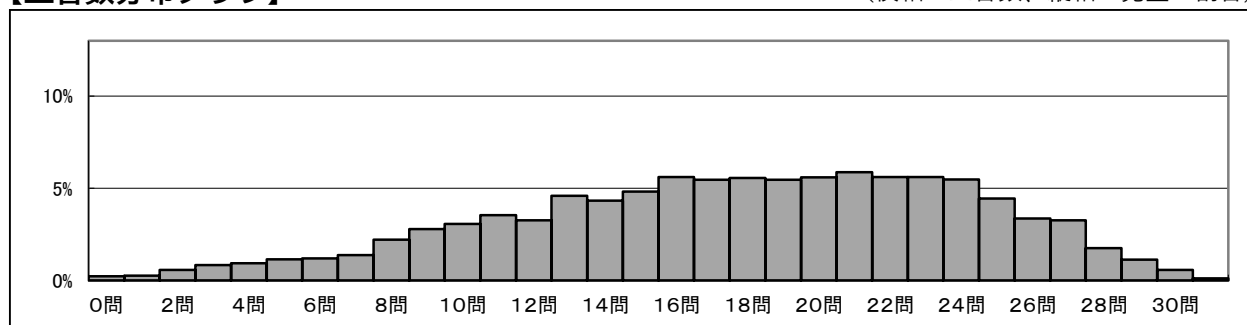
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	数と計算	(1) 繰り上がりのある加法計算	○			93.7	93.7	0.0	6.1	0.2
		(2) 波及的繰り下がりのある減法計算	○			83.1	83.1	0.0	16.2	0.7
		(3) 余りのない除法計算	○			78.6	78.6	0.0	16.4	5.0
		(4) 3位数×2位数	○			71.7	71.7	0.0	26.6	1.7
		(5) 小数+整数	○			81.4	81.4	0.0	17.7	0.9
2	(1) 測定	重さと適切な単位	○			96.8	96.8	0.0	2.7	0.5
	(2) 数と計算	(2) 除法の意味	○			74.2	74.2	0.0	25.0	0.8
		(3) 数直線上に表した分数	○			52.0	52.0	0.0	43.8	4.2
		(4) 二つの数量の倍関係		○		82.7	82.7	0.0	15.5	1.9
	(5) 図形	直角二等辺三角形の敷き詰め		○		80.3	80.3	0.0	17.9	1.8
3	データの活用	(1) データの分類整理と表の作成	○			67.3	67.3	0.0	30.5	2.1
		(2) 簡単な二次元表の数値の意味【事実】	○			38.8	34.7	4.1	57.9	3.3
4	図形	長方形の定義【事実】	○			10.5	7.2	3.3	78.6	10.9
5	数と計算	(1) □を用いた式	○			66.2	66.2	0.0	29.5	4.2
		(2) 示された計算の仕方の適用【方法】		○		68.2	68.0	0.1	24.3	7.6
6	(1) 図形	球の直径と半径の理解	○			61.4	61.4	0.0	33.5	5.0
	(2) 数と計算	余りのある除法、余りの処理【理由】		○		57.4	11.8	45.5	30.3	12.3
7	データの活用	(1) データの特徴の読み取り		○		60.1	60.1	0.0	34.1	5.9
		(2) 適切なグラフの選択		○		65.1	43.2	21.9	26.3	8.6
8	図形	直方体の辺の数と頂点の数の理解	○			51.9	51.9	0.0	41.4	6.7
9	測定	(1) 長さの単位と測定	○			57.9	57.9	0.0	32.3	9.8
		(2) 正時をまたいだ時間の求め方		○		52.9	52.9	0.0	34.8	12.4

《小学校第6学年 社会》

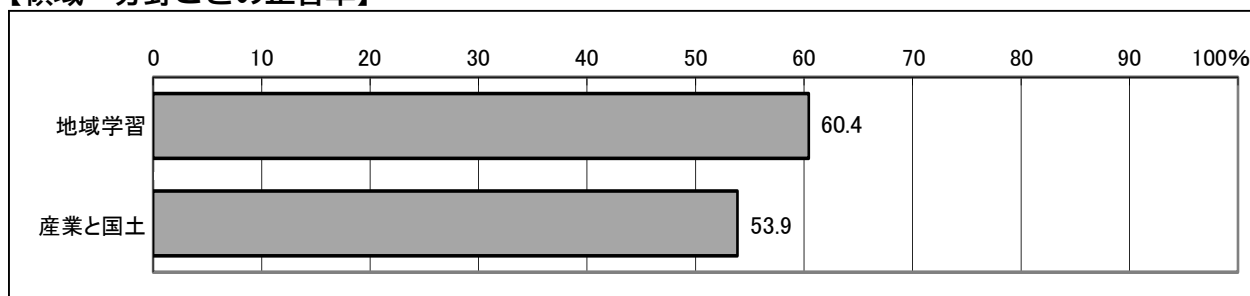
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,528 人	57.0%	17.7 問 / 31 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1 (1)A 石川県の自然 (白山)	90.3
2	2 (3)② 日本の地形 (奥羽山脈)	88.0
3	2 (1)① 赤道の位置	82.3

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5 (4)② 米作りの工夫 (効率化)	14.7
2	6 (2) 沖縄県の生活の工夫	21.7
3	3 (2)C 市の様子の移り変わり (高速道路)	34.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6 (2) 沖縄県の生活の工夫	33.9
2	6 (3)D 沖縄県の伝統的な家屋 (防災)	32.6
3	6 (3)C 沖縄県の伝統的な家屋 (特色)	31.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ◎：石川県全体の地形の様子を理解すること〔1 (1) A〕
- ◇：自然災害から人々を守る活動について、資料を基に考察し、適切に表現すること〔1 (4)〕
- ▼：実際の距離について、地図帳から、読み取ること〔1 (2) ②〕
- ▼：浄水場のしくみについて、資料から、必要な情報を読み取ること〔4 (1) A〕

【産業と国土】

- ：我が国の国土の地形を理解すること〔2 (3) ②〕
- ▽：世界の主な大陸について理解すること〔2 (1) ②〕
- ▼：世界における我が国の位置と領土について、地図帳から、読み取ること〔2 (2) ②〕
- ▼：米づくりの効率化が図られてきたことについて、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔5 (4) ②〕

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年(社会)

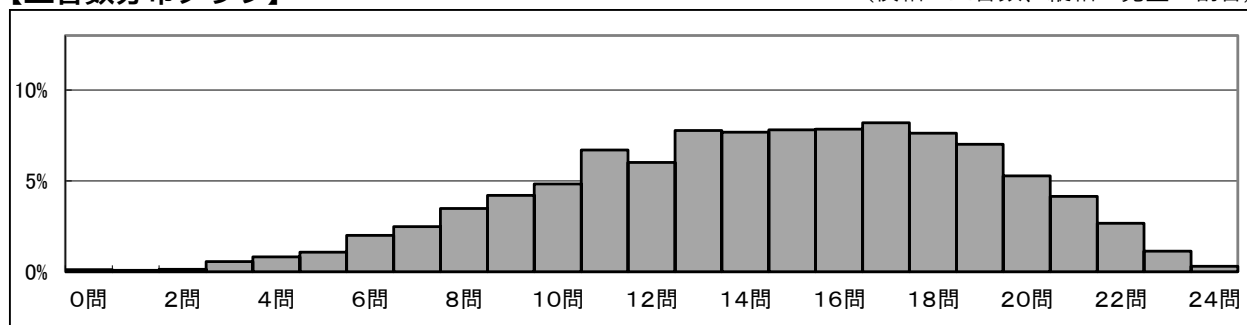
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合 (%)				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	地域学習	(1A) 石川県の自然(白山)	○			90.3	90.3	0.0	7.9	1.8
		(1B) 石川県の自然(能登島)	○			71.6	71.6	0.0	24.5	3.9
		(2①) 石川県の市の位置(方位)	○			67.4	67.4	0.0	28.8	3.8
		(2②) 縮尺の活用	○			41.9	41.9	0.0	49.2	8.9
		(3) 地図記号の活用	○			71.1	70.8	0.3	26.5	2.3
		(4) 自然災害への備え		○		73.9	59.3	14.6	22.2	3.9
2	産業と国土	(1①) 赤道の位置	○			82.3	82.3	0.0	16.7	1.0
		(1②) 世界の主な大陸(南極大陸)	○			64.2	64.2	0.0	30.8	4.9
		(2①) 日本の位置と領土(オホーツク海)	○			70.1	70.1	0.0	25.9	4.0
		(2②) 日本の位置と領土(西端の経度)	○			43.8	43.8	0.0	47.3	8.9
		(3①) 日本の地形(盆地と平野)	○			59.5	59.5	0.0	35.5	5.1
		(3②) 日本の地形(奥羽山脈)	○			88.0	88.0	0.0	7.4	4.6
3	地域学習	(1) 生活の道具の移り変わり	○			78.2	78.2	0.0	20.6	1.2
		(2C) 市の様子の移り変わり(高速道路)	○			34.9	34.9	0.0	58.3	6.8
		(2D) 市の様子の移り変わり(電気)	○			66.5	66.5	0.0	28.1	5.4
		(3) 公共施設の種類	○			48.4	48.1	0.3	48.1	3.4
		(4) 市の人口の移り変わり		○		43.9	42.2	1.6	47.7	8.4
4	地域学習	(1A) 浄水場の仕組み(ちんでん池)	○			37.9	37.9	0.0	59.7	2.4
		(1B) 浄水場の仕組み(ろか池)	○			63.6	63.6	0.0	33.6	2.8
		(2) 森林の役割		○		50.6	42.8	7.8	39.0	10.4
		(3) 節水の工夫		○		66.3	57.3	9.0	22.9	10.8
5	産業と国土	(1) 食料品の種類(畜産物・水産物)	○			63.2	63.0	0.2	32.8	4.0
		(2) 日本の米づくりの特色	○			38.8	38.8	0.0	56.0	5.3
		(3) 米づくりの工夫(品種改良)		○		66.0	60.8	5.1	18.8	15.2
		(4①) 米の収穫量の変化	○			54.7	54.7	0.0	33.4	11.9
		(4②) 米づくりの工夫(効率化)		○		14.7	4.8	9.9	63.8	21.5
		(5) 食料生産における安全性の確保		○		36.4	31.8	4.5	33.0	30.6
6	産業と国土	(1) 沖縄県と石川県の気候の違い	○			51.3	42.4	8.9	31.4	17.3
		(2) 沖縄県の生活の工夫		○		21.7	18.4	3.4	44.4	33.9
		(3C) 沖縄県の伝統的な家屋(特色)		○		57.8	48.9	8.9	10.5	31.7
		(3D) 沖縄県の伝統的な家屋(防災)		○		49.2	5.0	44.2	18.1	32.6

《小学校第6学年 理科》

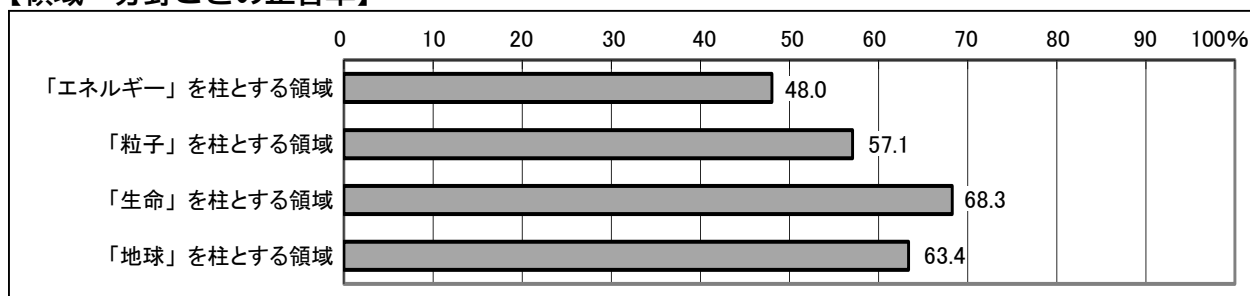
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,534 人	60.2%	14.5 問 / 24 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	6(2) 川原の石の特徴と場所の関係	96.1
2	1(1) 昆虫の育ち方	89.0
3	5(1)① メダカの誕生	86.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1) ゴムのはたらきについての学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】	12.2
2	7(3) 雲画像をもとにした天気の詳細【分析】	14.7
3	8(1) 磁石の極の性質【分析】	22.6

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	2(1) 液の中にある固体を取り出す操作の名称	9.7
2	8(1) 磁石の極の性質【分析】	6.1
3	3(1) ゴムのはたらきについての学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】	4.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【「エネルギー」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：実験結果を基に、学習課題に正対するまとめを考えること〔3(1)〕 ▼：手ごたえなどの体感を基に、磁石の極の性質について表現すること〔8(1)〕
<p>【「粒子」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽：閉じ込めた空気と水を圧したときの現象を、それぞれの性質と関係付けて考えること〔4(2)〕 ▼：溶けた物の存在について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること〔2(2)〕
<p>【「生命」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解すること〔1(1)〕 ○：メダカの発生のために雄の出すものが精子ということを理解すること〔5(1)①〕
<p>【「地球」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解すること〔6(2)〕 ▽：方位を正しく捉え、観測すること〔7(1)〕

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年(理科)

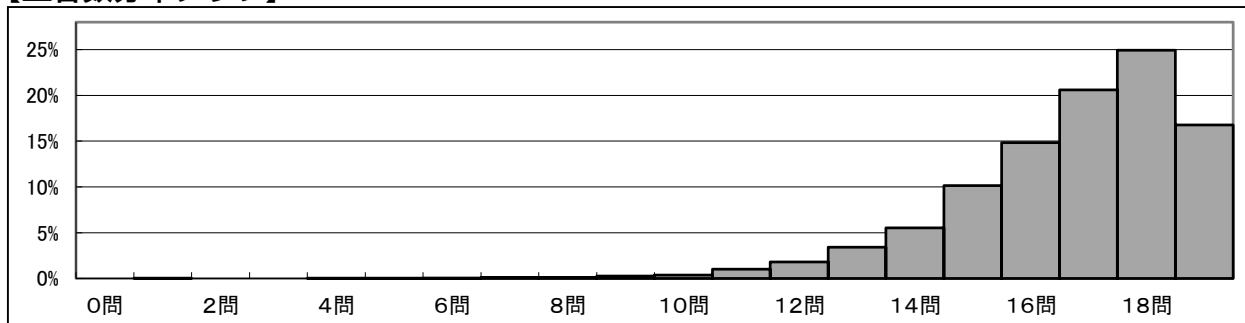
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合 (%)				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	(1)	昆虫の育ち方	○			89.0	89.0	0.0	10.5	0.6
	(2)	「生命」を柱とする領域 昆虫のからだのつくり	○			71.1	71.1	0.0	28.7	0.3
	(3)	モンシロチョウのたまごを産む場所	○			83.1	83.1	0.0	16.8	0.1
2	(1)	液の中にある固体を取り出す操作の名称	○			66.2	66.2	0.0	24.2	9.7
	(2)	「粒子」を柱とする領域 物の溶け方について、予想が確かめられた場合に得られる結果の見通し【構想】		○		48.7	48.7	0.0	47.9	3.3
3	(1)	「エネルギー」を柱とする領域 ゴムのはたらきについての学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】		○		12.2	12.2	0.0	83.5	4.3
	(2)	ゴムのはたらきに関する条件制御をふまえた実験方法の構想【構想】		○		78.3	78.3	0.0	21.1	0.6
4	(1)空気	空気の体積変化に関する実験結果の考察【分析】		○		54.3	54.3	0.0	43.0	2.6
	(1)水	「粒子」を柱とする領域 水の体積変化に関する実験結果の考察【分析】		○		69.2	69.2	0.0	28.2	2.6
	(2)	空気と水の性質をもとにした結果の見通し【構想】		○		68.2	68.2	0.0	30.7	1.1
5	(1)①	メダカの誕生	○			86.9	86.9	0.0	10.7	2.3
	(1)②	メダカの誕生	○			60.4	60.4	0.0	35.6	3.9
	(2)	顕微鏡の使用場所	○			45.5	45.5	0.0	52.4	2.1
	(3)	メダカのたまごが変化していく順	○			75.8	75.8	0.0	24.0	0.2
	(4)	観察結果と資料を関係付けたメダカの成長についての考察【分析】		○		34.4	34.4	0.0	62.0	3.6
6	(1)	「粒子」を柱とする領域 水の状態変化	○			36.0	36.0	0.0	63.5	0.6
	(2)	「地球」を柱とする領域 川原の石の特徴と場所の関係	○			96.1	96.1	0.0	3.3	0.6
	(3)	流れる水のはたらき	○			53.0	53.0	0.0	42.9	4.1
7	(1)	雲の動きの観察時の方位	○			66.2	66.2	0.0	32.5	1.3
	(2)	「地球」を柱とする領域 雲画像とアメダスの関係	○			86.9	86.9	0.0	12.2	0.9
	(3)	雲画像をもとにした天気の予想【分析】		○		14.7	14.7	0.0	81.4	3.9
8	(1)	「エネルギー」を柱とする領域 磁石の極の性質【分析】		○		22.6	22.6	0.0	71.3	6.1
	(2)	電磁石の極の判別	○			61.8	61.8	0.0	37.0	1.2
	(3)	電流を大きくする正しい乾電池のつなぎ方	○			65.2	65.2	0.0	33.6	1.1

《小学校第6学年 英語》

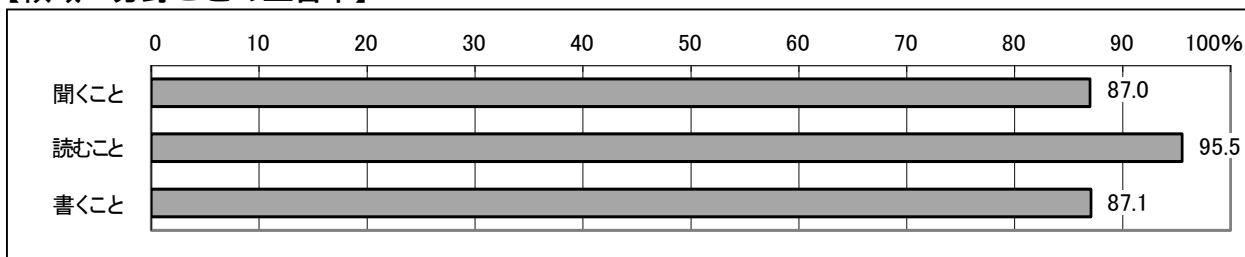
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,529 人	87.9%	16.7 問 / 19 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1 (2) 自己紹介の聞き取り (好きな果物)	99.9
2	1 (1)、(3) 自己紹介の聞き取り (好きな食べ物、得意なスポーツ)	99.3
3	2 (2) お正月にする遊びの聞き取り	98.6

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5 (2) 将来の夢について理由の聞き取り	36.4
2	7 (3) アルファベットの小文字を書くこと (q)	65.7
3	6 短い話を聞いて、その概要を捉えること	69.2

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	5 (2) 将来の夢について理由の聞き取り	16.6
2	5 (1) 将来の夢の聞き取り	5.1
3	7 (3) アルファベットの小文字を書くこと (q)	1.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【聞くこと】

- ◎：身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ること〔1〕
- ▽：日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えること〔6〕
- ▼：将来の夢に関するまとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取ること〔5(2)〕

【読むこと】

- ◎：簡単な語句や基本的な表現の意味を理解すること〔8〕

【書くこと】

- ：大文字を活字体で書くこと〔7(1)、(2)〕
- ▽：小文字を活字体で書くこと〔7(3)〕

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年(英語)

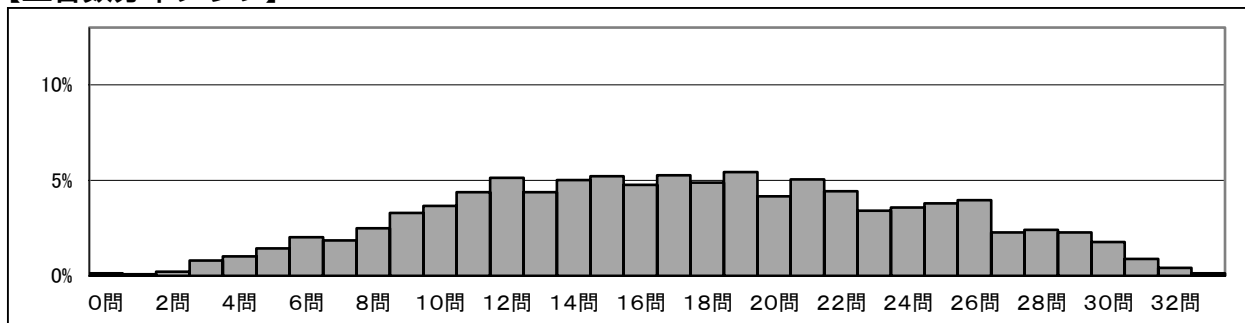
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	聞くこと	自己紹介の聞き取り(好きな食べ物)	○			99.3	99.2	0.1	0.7	0.0
		自己紹介の聞き取り(好きな果物)	○			99.9	99.8	0.1	0.1	0.0
		自己紹介の聞き取り(得意なスポーツ)	○			99.3	99.2	0.0	0.7	0.0
2	聞くこと	誕生日に欲しい物の聞き取り	○			96.9	96.8	0.0	3.1	0.0
		お正月にする遊びの聞き取り	○			98.6	98.6	0.0	1.3	0.0
3	聞くこと	道案内の聞き取り	○			84.7	84.7	0.0	15.1	0.1
4	聞くこと	レストランでのメニューの聞き取り	○			98.0	97.9	0.1	1.9	0.1
		レストランでの値段の聞き取り	○			91.6	91.2	0.4	8.3	0.2
5	聞くこと	将来の夢の聞き取り	○			82.8	82.7	0.1	12.1	5.1
		将来の夢について理由の聞き取り	○			36.4	35.1	1.2	47.0	16.6
6	聞くこと	短い話を聞いて、その概要を捉えること		○		69.2	69.2	0.0	30.6	0.2
7	書くこと	アルファベットの大文字を書くこと(B)	○			96.5	96.5	0.0	3.4	0.2
		アルファベットの大文字を書くこと(L)	○			81.3	81.3	0.0	17.8	0.9
		アルファベットの小文字を書くこと(q)	○			65.7	65.7	0.0	32.6	1.7
8	読むこと	単語を読んで意味を理解すること	○			94.0	93.8	0.2	5.7	0.4
		単語を読んで意味を理解すること	○			97.0	96.8	0.2	2.6	0.4
9	書くこと	目的や場面、状況に応じて自分の誕生日を書くこと		○		94.1	85.7	8.3	5.3	0.6
		目的や場面、状況に応じて好きな季節を書くこと		○		93.3	84.4	8.9	6.2	0.5
		目的や場面、状況に応じて好きな教科を書くこと		○		91.5	88.9	2.6	8.1	0.4

《中学校第3学年 社会》

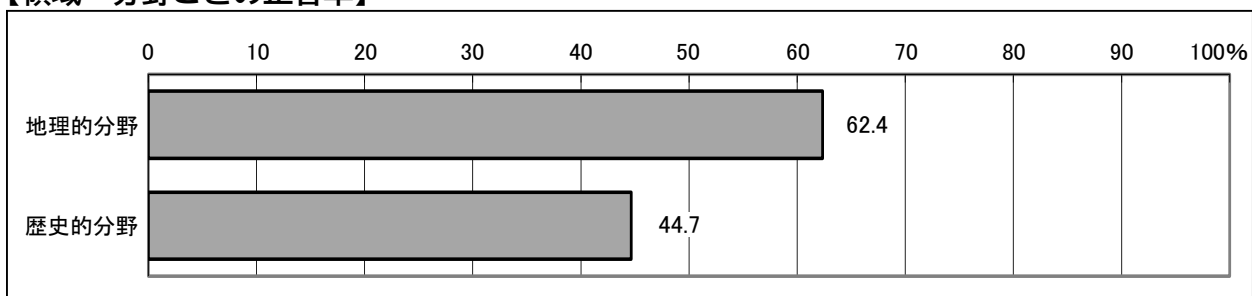
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,374 人	52.7%	17.4 問 / 33 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (1)① B	六大陸（ユーラシア大陸）	90.4
1 (1)① A	三大洋（太平洋）	90.3
1 (2)①	南アメリカ州の農業（焼畑農業）	85.6

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
4 (5)②	冷害と地形の関係	15.8
5 (4)②	異国船打払令を緩めた理由	20.3
3 (3)②	歴史上の事象（分国法）	25.2

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
3 (3)②	歴史上の事象（分国法）	28.5
3 (3)①	歴史上の事象（応仁の乱）	25.2
5 (4)②	異国船打払令を緩めた理由	24.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ◎：世界を代表する大陸や海洋の基礎的な知識について理解すること〔1(1)①〕
- ：地形図を読み取り、その地域の特徴を判断すること〔4(3)②〕
- ▼：世界の気候帯の特色について理解すること〔1(1)③〕
- ▼：地理的事象について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔1(2)④、4(4)、4(5)②〕

【歴史的分野】

- ◇：古代の歴史に関わる事象の変遷について理解すること〔2(5)〕
- ◇：産業革命における問題点について、資料を基に考察し、適切に表現すること〔5(3)〕
- ▼：基礎的・基本的な歴史に関わる事象について理解すること〔2(2)、3(3)〕
- ▼：歴史に関わる事象について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔3(5)、5(4)②〕

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年(社会)

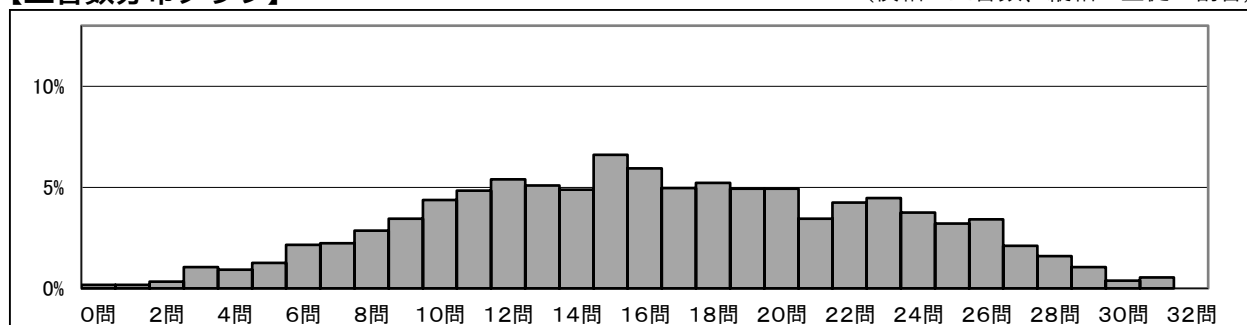
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合 (%)					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答	
1	地理的分野	(1)①A	三大洋（太平洋）	○			90.3	90.3	0.0	8.7	1.0
		(1)①B	六大陸（ユーラシア大陸）	○			90.4	90.4	0.0	8.1	1.4
		(1)②	東京からの方位	○			81.6	81.6	0.0	15.8	2.7
		(1)③	世界の気候の特色（南半球）	○			42.8	42.8	0.0	56.7	0.4
		(2)①	南アメリカ州の農業（焼畑農業）	○			85.6	85.6	0.0	14.2	0.3
		(2)②	ベネズエラの経済（モノカルチャー経済）	○			70.9	70.9	0.0	12.7	16.4
		(2)③	南アメリカ州の人種・民族構成の特徴		○		38.6	14.4	24.2	44.2	17.2
		(2)④	バイオ燃料で走る自動車が普及した理由		○		36.4	16.2	20.1	55.7	8.0
2	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（中大兄皇子）	○			46.8	46.8	0.0	39.6	13.6
		(2)	歴史上の事象（院政）	○			34.5	34.5	0.0	45.2	20.3
		(3)①	歴史上の事象（天平文化）	○			45.7	45.7	0.0	54.0	0.4
		(3)②	歴史上の事象（口分田）	○			42.9	42.9	0.0	55.2	1.9
		(4)	大和政権の勢力範囲		○		35.7	33.6	2.1	47.1	17.2
		(5)	時代の流れ（並び替え）	○			72.9	72.9	0.0	26.6	0.5
3	歴史的分野	(1)	室町幕府の場所	○			62.4	62.4	0.0	36.9	0.7
		(2)	琉球王国とアジア諸国の貿易	○			40.1	40.2	0.0	50.3	9.6
		(3)①	歴史上の事象（応仁の乱）	○			32.2	32.2	0.0	42.6	25.2
		(3)②	歴史上の事象（分国法）	○			25.2	25.2	0.0	46.3	28.5
		(4)	歴史上の事象（室町時代の交通）	○			42.3	42.3	0.0	56.7	0.9
		(5)	参勤交代の影響		○		27.1	21.9	5.2	56.1	16.8
4	地理的分野	(1)	日本の主な平野（庄内平野）	○			67.3	67.3	0.0	32.1	0.5
		(2)	日本周辺の漁場（潮目・潮境）	○			75.9	75.9	0.0	14.1	10.0
		(3)①	地形図の活用（断面図）	○			67.1	67.1	0.0	32.2	0.7
		(3)②	地形図の活用（地域の特徴）	○			83.7	83.7	0.0	15.2	1.2
		(4)	関東地方の昼夜間人口の比較		○		33.5	18.2	15.3	53.8	12.7
		(5)①	関東地方の農業（近郊農業）	○			55.6	55.6	0.0	26.4	18.0
		(5)②	冷害と地形の関係		○		15.8	14.6	1.3	61.4	22.8
5	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（モンテスキュー）	○			42.3	42.3	0.0	56.5	1.2
		(2)	歴史上の事象（フランス人権宣言）	○			41.6	41.6	0.0	53.0	5.3
		(3)	産業革命の問題点		○		74.6	67.4	7.2	16.4	9.0
		(4)①	歴史上の事象（天保の改革）	○			47.9	47.9	0.0	50.0	2.2
		(4)②	異国船打払令を緩めた理由		○		20.3	1.5	18.8	55.1	24.6
		(5)	歴史上の事象（下田）	○			69.3	69.3	0.0	29.0	1.7

《中学校第3学年 理科》

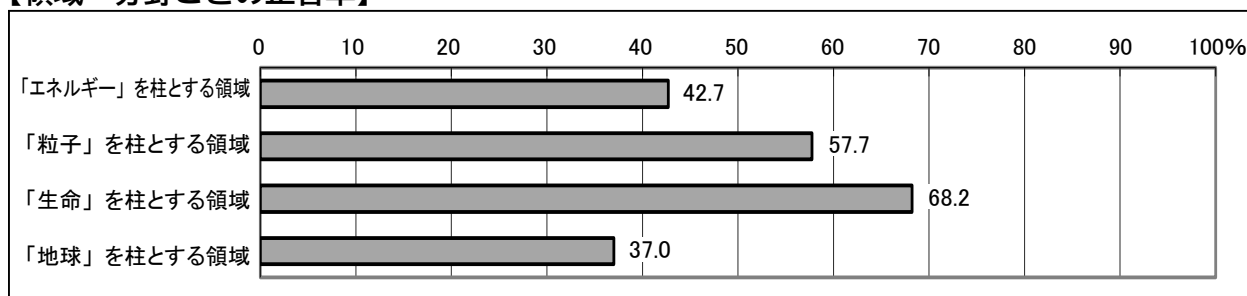
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,375 人	51.4%	16.5 問 / 32 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1) 気体のにおいをかく方法	95.3
2	3(3) 気体の性質を基にした実験方法の構想と結果の見通し【構想】	84.6
3	1(1) 胎生の名称	82.7

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(2) 地層の傾き【分析・解釈】	11.7
2	2(4) 月面上でのばねの伸び【分析・解釈】	11.9
3	3(2) 水を入れたペットボトルを用いて気体を区別した結果	12.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(2) 質量保存の法則を調べるための実験の改善【検討・改善】	24.9
2	3(2) 水を入れたペットボトルを用いて気体を区別した結果	22.8
3	8(3) 回路に抵抗器を入れる理由	20.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【「エネルギー」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：重力について理解すること〔2(1)〕 ▼：輪にした導線に流れる電流がつくる磁界の向きを理解すること〔8(1)〕 <p>【「粒子」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：気体の性質を基に、実験の方法と結果を考えること〔3(3)〕 ▼：塩酸と炭酸水素ナトリウムの化学変化を、モデルを使って表すこと〔6(3)モデル〕 <p>【「生命」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：胎生について理解すること〔1(1)〕 ▽：核が染色液によって染色されることを理解すること〔4(2)〕 <p>【「地球」を柱とする領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：柱状図と地図を関係付け、地層の傾きを考えること〔5(2)〕 ▼：気象観測の結果から天気を表すこと〔7(1)〕
--

() 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年(理科)

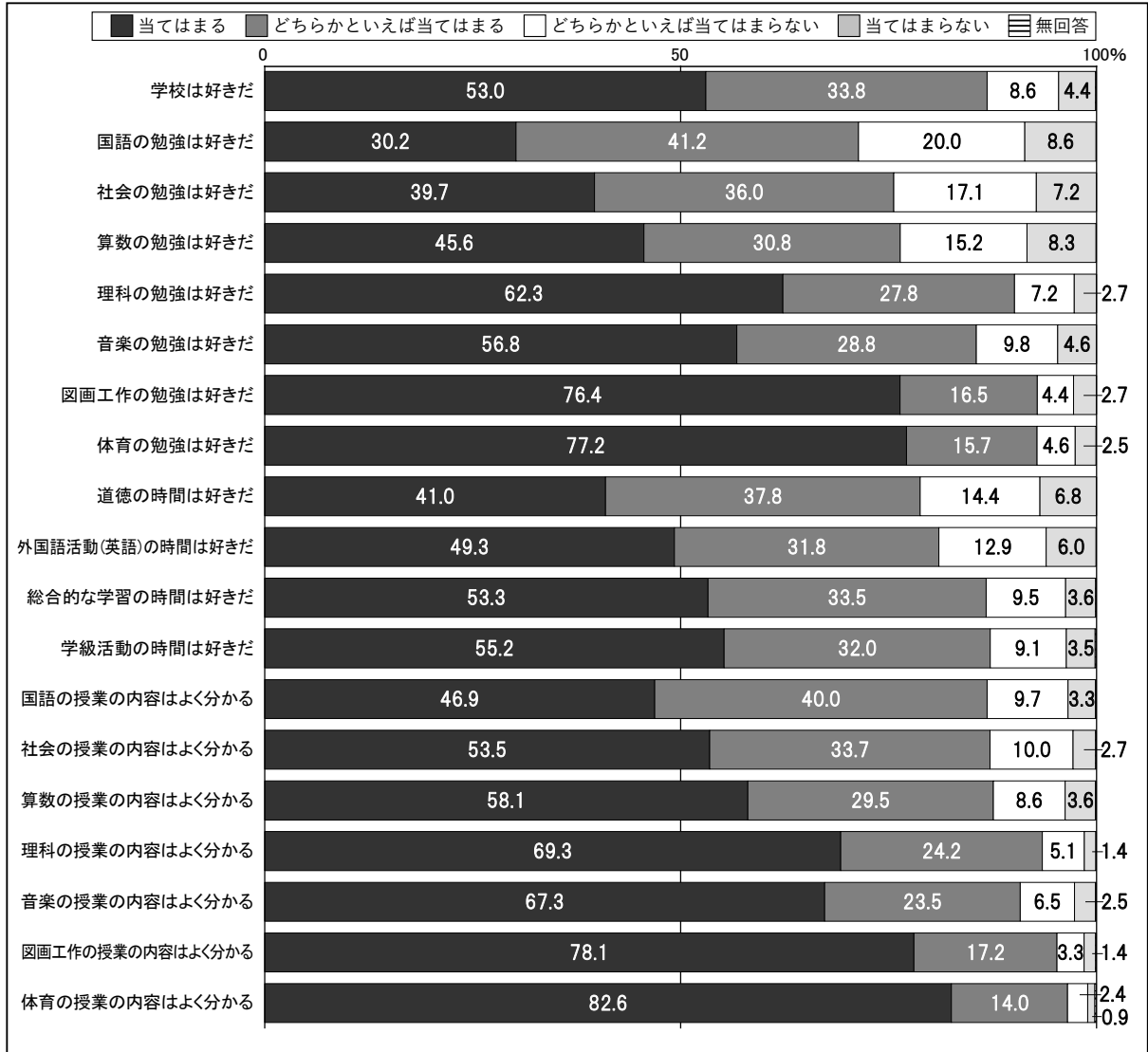
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	「生命」を柱とする領域	(1) 胎生の名称	○			82.7	82.7	0.0	12.0	5.3
		(2) セキツイ動物の名称	○			78.5	78.5	0.0	19.7	1.8
		(3) 動物の分類の観点		○		71.4	71.4	0.0	26.2	2.4
		(4) 未知の動物を分類する観点【適用】		○		72.2	72.2	0.0	25.1	2.7
2	「エネルギー」を柱とする領域	(1) 重力が働く現象	○			49.9	49.9	0.0	49.8	0.3
		(2) 質量	○			62.0	62.0	0.0	37.7	0.3
		(3) 地球上での重力の大きさ	○			76.0	76.0	0.0	19.0	5.0
		(4) 月面上でのばねの伸び【分析・解釈】		○		11.9	11.9	0.0	82.4	5.7
3	「粒子」を柱とする領域	(1) 気体のにおいをかぐ方法	○			95.3	95.3	0.0	2.0	2.7
		(2) 水を入れたペットボトルを用いて気体を区別した結果		○		12.4	12.4	0.0	64.8	22.8
		(3) 気体の性質を基にした実験方法の構想と結果の見通し【構想】		○		84.6	84.6	0.0	15.1	0.3
4	「生命」を柱とする領域	(1) 染色液(酢酸オルセイン溶液)	○			61.9	61.9	0.0	37.7	0.4
		(2) 細胞のつくり(核)	○			68.8	68.8	0.0	25.3	6.0
		(3) 対照実験の名称	○			70.9	70.9	0.0	14.9	14.1
		(4) 実験の条件と結果の関係【分析・解釈】		○		39.6	39.6	0.0	59.8	0.5
5	「地球」を柱とする領域	(1) 堆積岩の名称	○			34.1	34.1	0.0	48.7	17.2
		(2) 地層の傾き【分析・解釈】		○		11.7	11.7	0.0	87.8	0.5
		(3) 凝灰岩と火山活動	○			56.9	56.9	0.0	38.7	4.4
		(4) 堆積物の粒の大きさと水深の関係	○			38.6	38.6	0.0	60.8	0.6
6	「粒子」を柱とする領域 モデル 化学 反応式	(1) メスシリンダーの名称	○			77.4	77.4	0.0	13.3	9.2
		(2) 質量保存の法則を調べるための実験の改善【検討・改善】		○		37.1	37.1	0.0	38.0	24.9
		(3) 炭酸水素ナトリウムと塩酸の化学変化のモデル図		○		40.4	40.4	0.0	41.4	18.2
		(3) 炭酸水素ナトリウムと塩酸の化学変化の化学反応式	○			38.5	38.5	0.0	44.8	16.8
		(4) 質量保存の法則	○			76.1	76.1	0.0	12.7	11.2
7	「地球」を柱とする領域	(1) 観測結果から天気を判断	○			46.4	46.4	0.0	50.9	2.7
		(2) 湿度と湿度表から湿球温度計の示度を求める	○			38.0	38.0	0.0	61.0	1.1
		(3) 風向と風向計の向き	○			43.9	43.9	0.0	55.3	0.8
		(4) 風力と等圧線の間隔【適用】	○			26.4	26.4	0.0	58.1	15.5
8	「エネルギー」を柱とする領域	(1) 導線に流れる電流がつくる磁界の向き	○			38.9	38.9	0.0	60.1	0.9
		(2) コイルに流れる電流がつくる磁界の向き	○			20.6	20.6	0.0	78.4	1.0
		(3) 回路に抵抗器を入れる理由	○			43.7	43.7	0.0	36.2	20.1
		(4) 磁界中の電流が受ける力の向き	○			38.6	38.6	0.0	60.3	1.1

2 質問紙調査結果

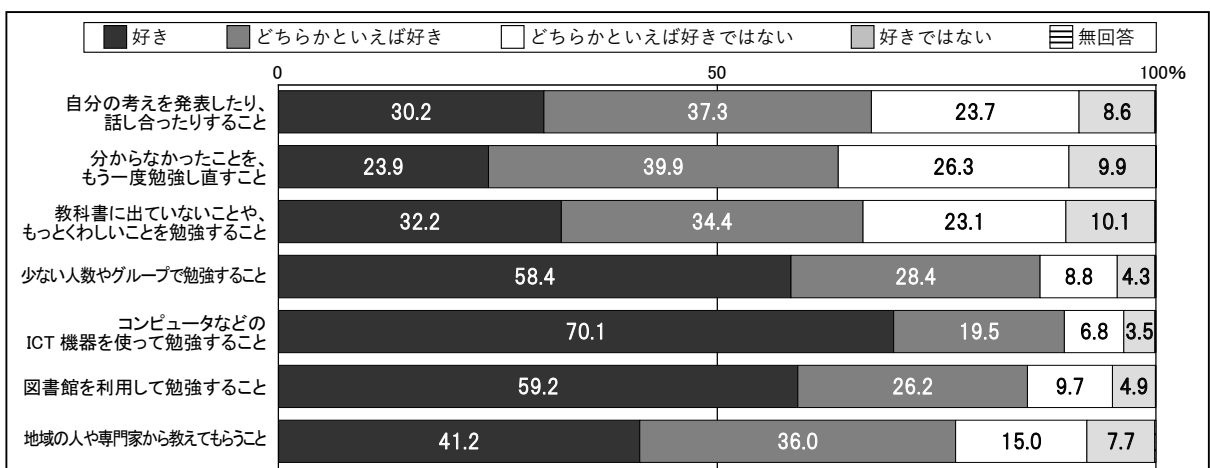
※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：197校（4,256人）

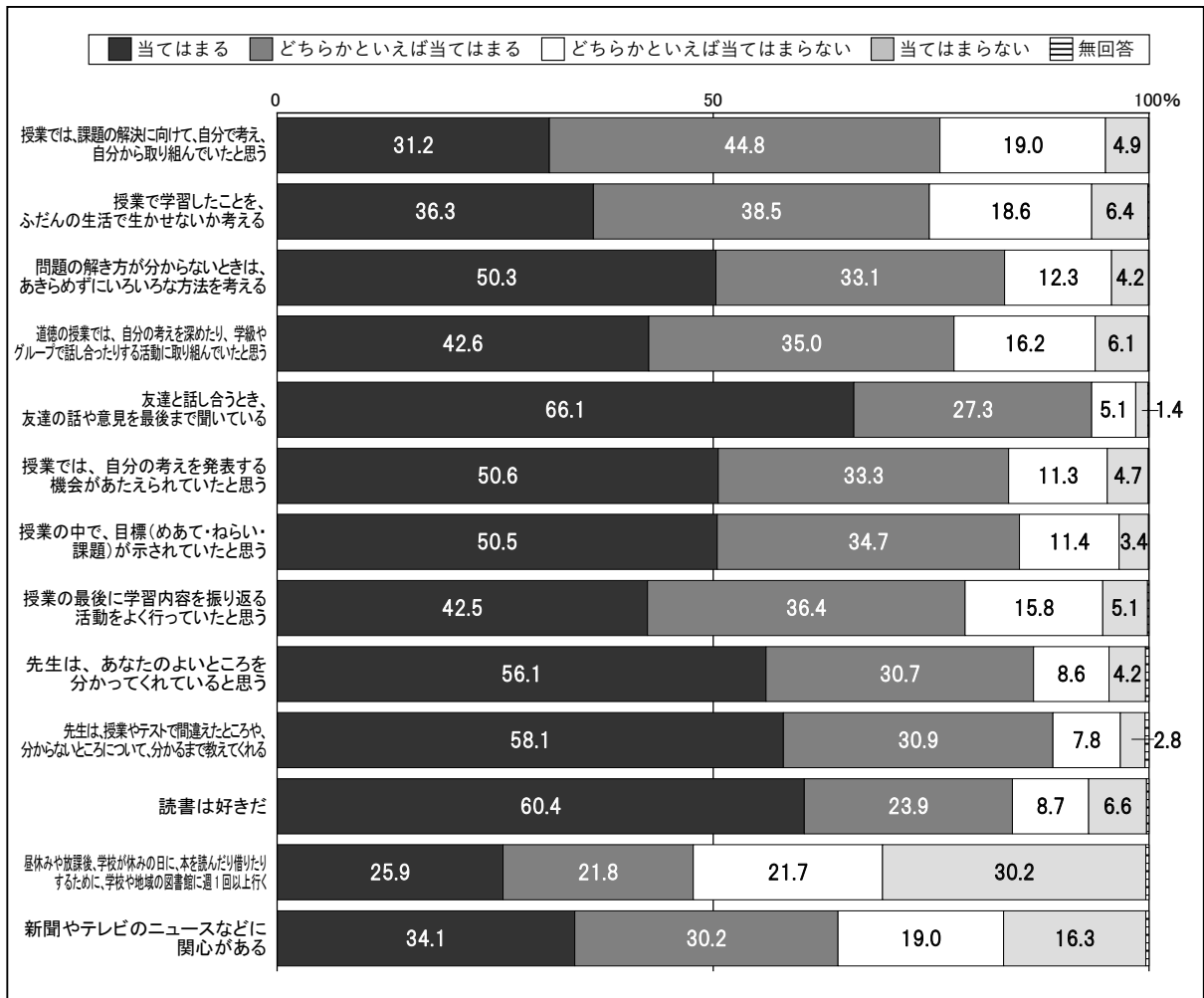
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



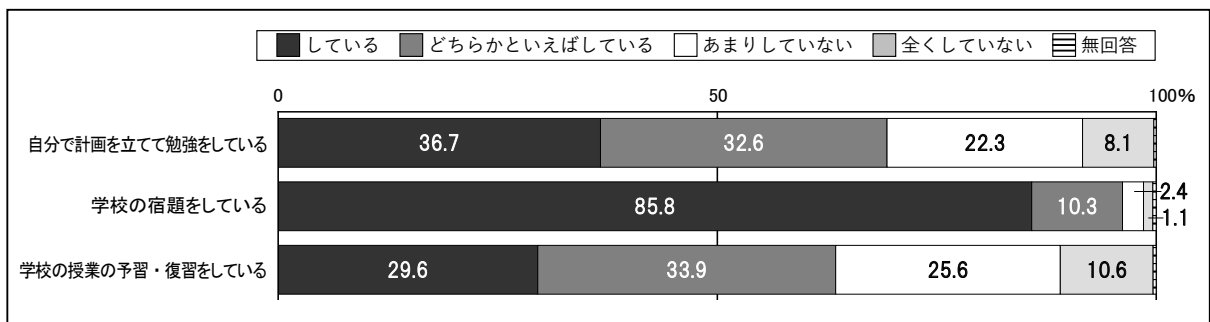
2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

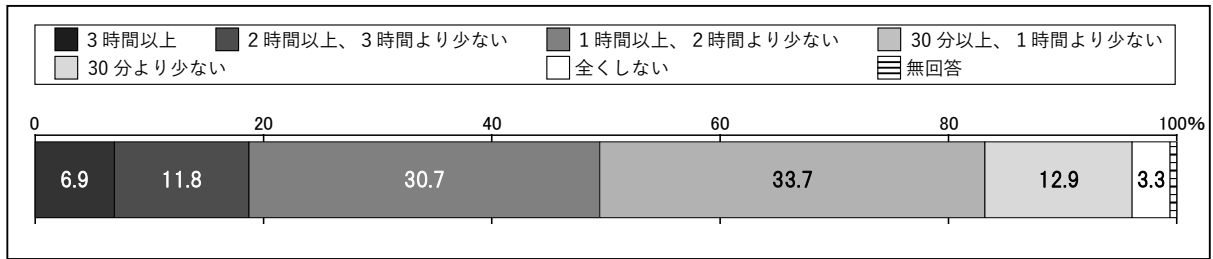


4 あなたは、家で次のようなことをしていますか。

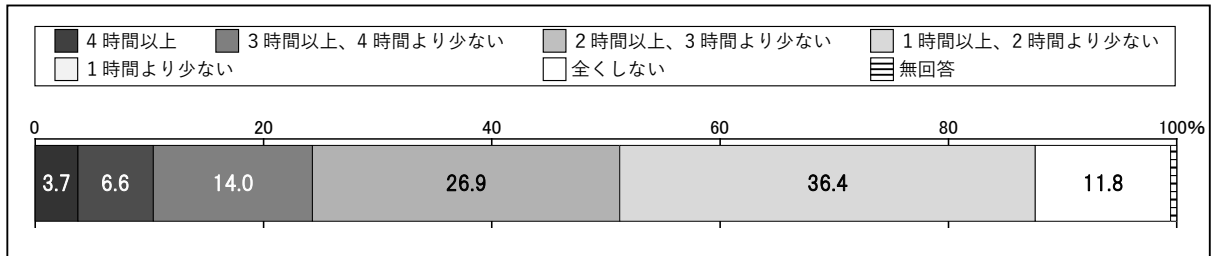


5

(1) あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

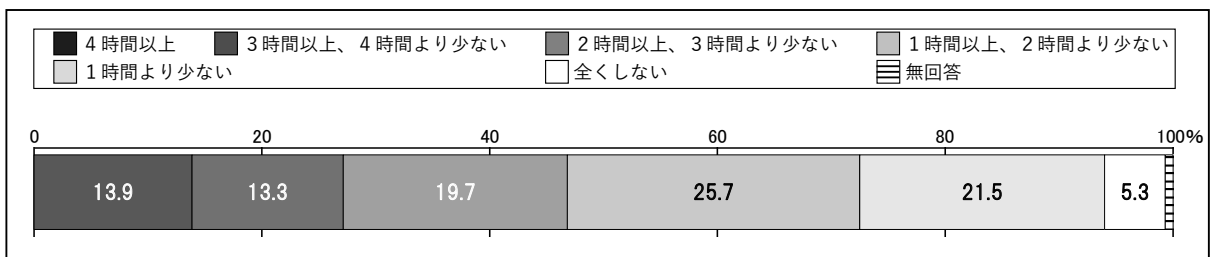


(2) あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

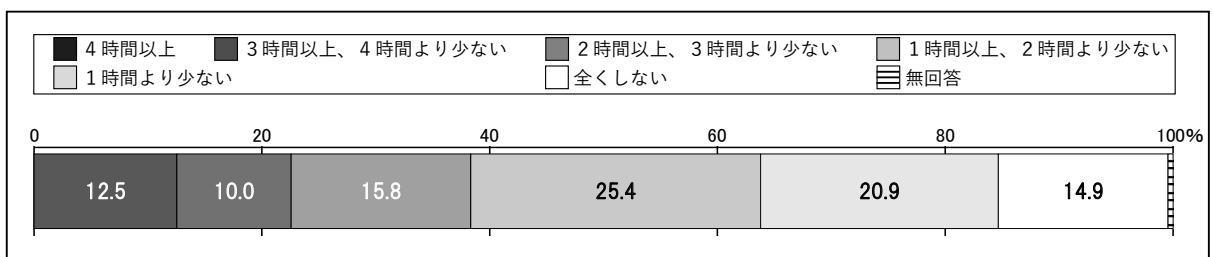


6

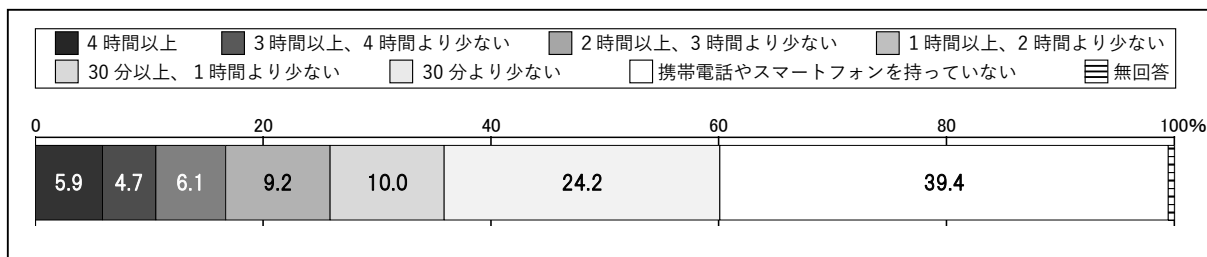
(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。）



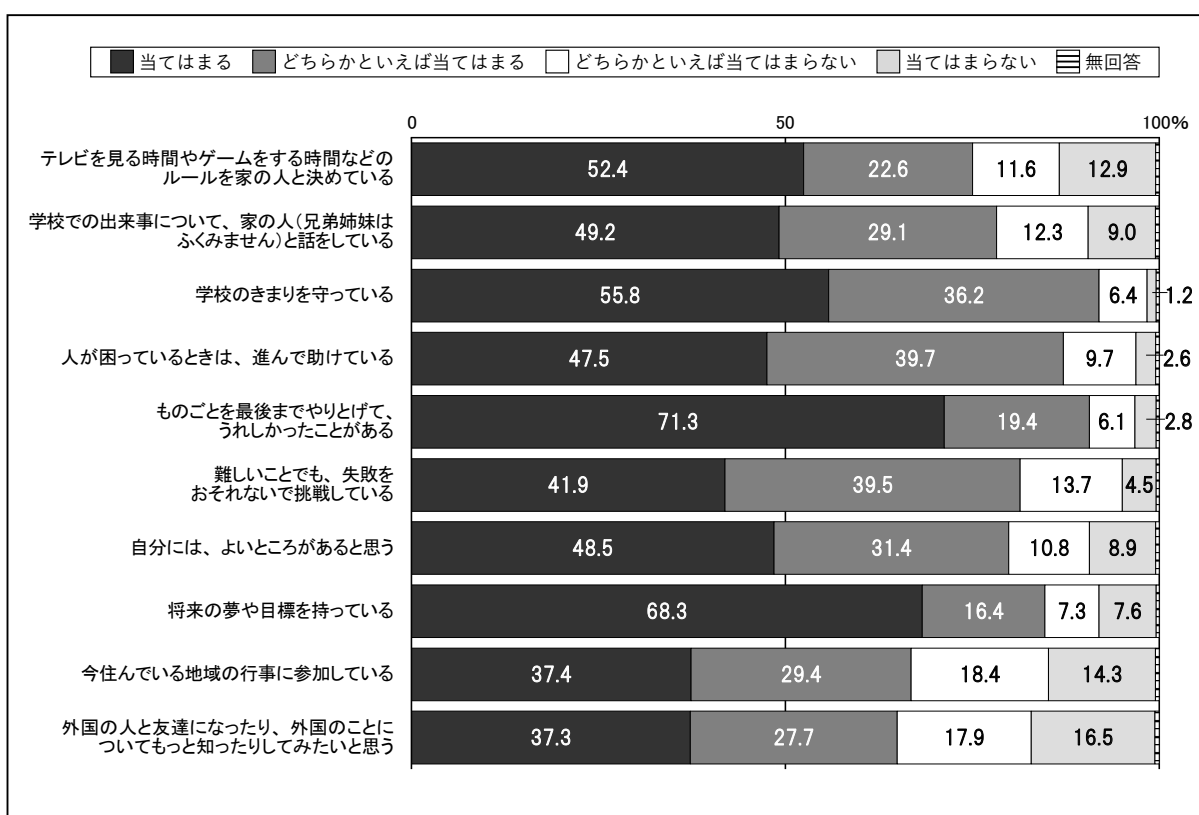
(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームもふくみます。）をしますか。



(3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンなどを使ってゲームをする時間はのぞきます。）

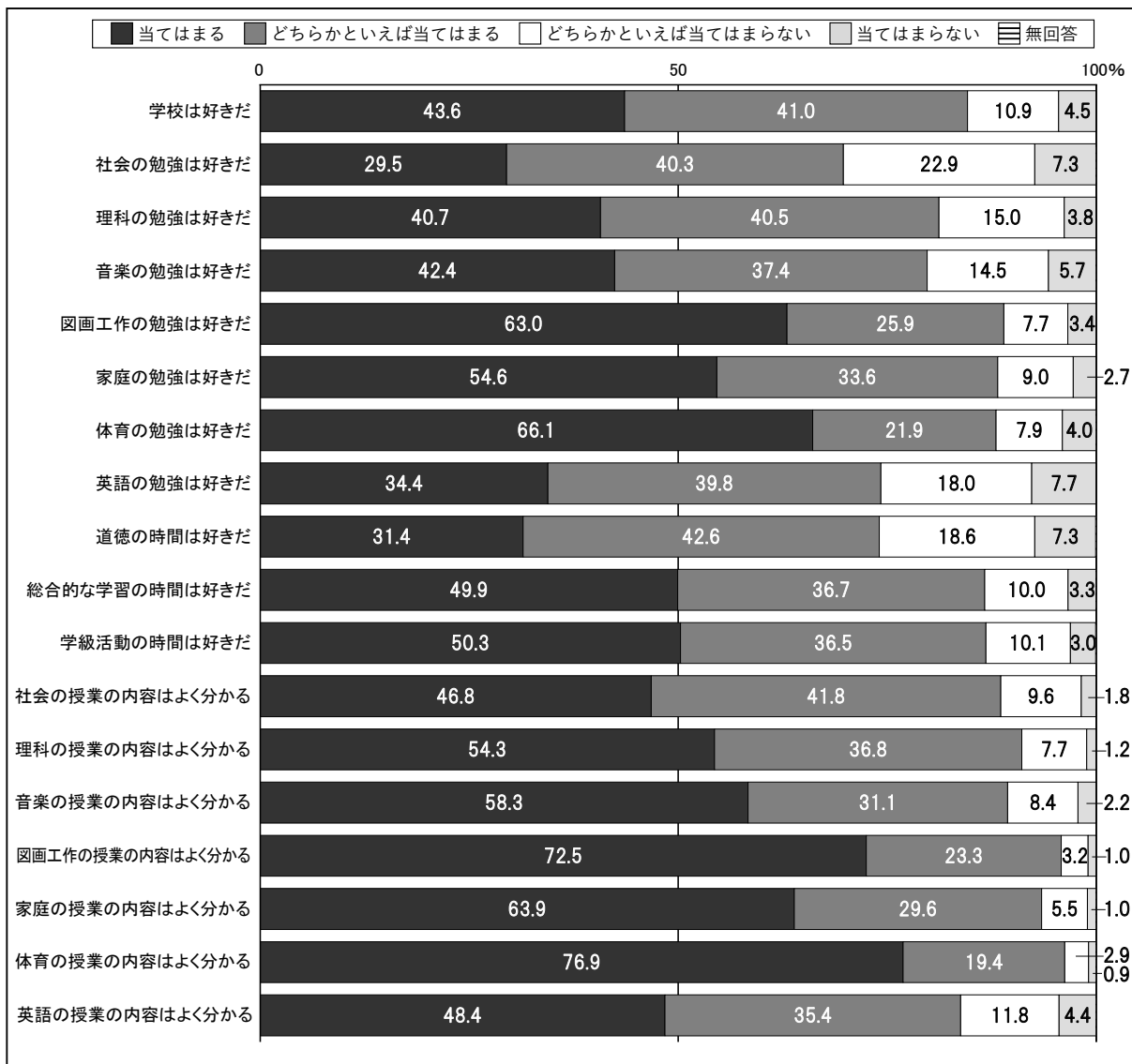


7 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

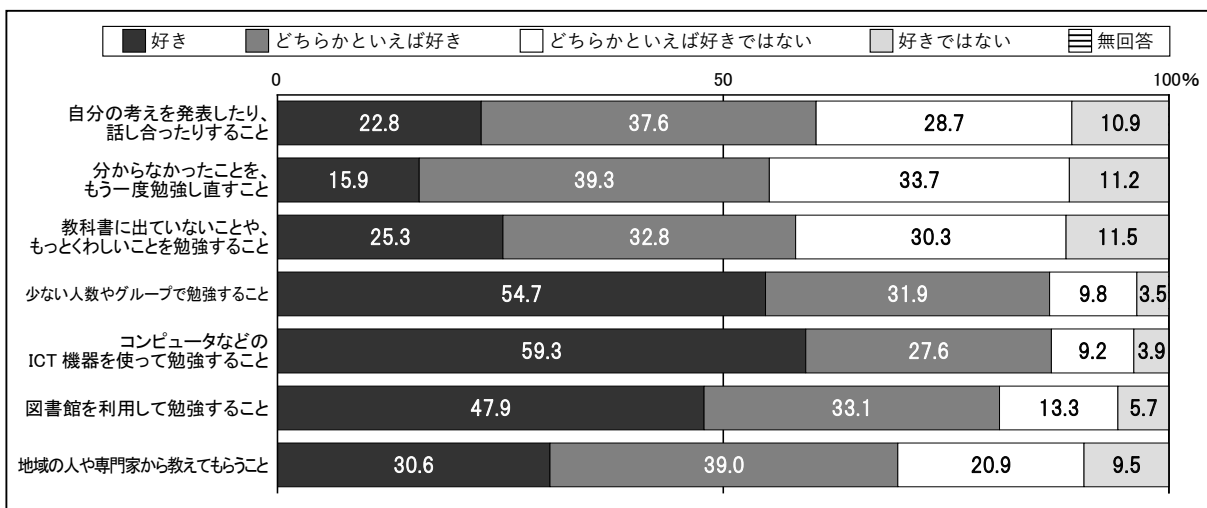


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：200校（4,521人）

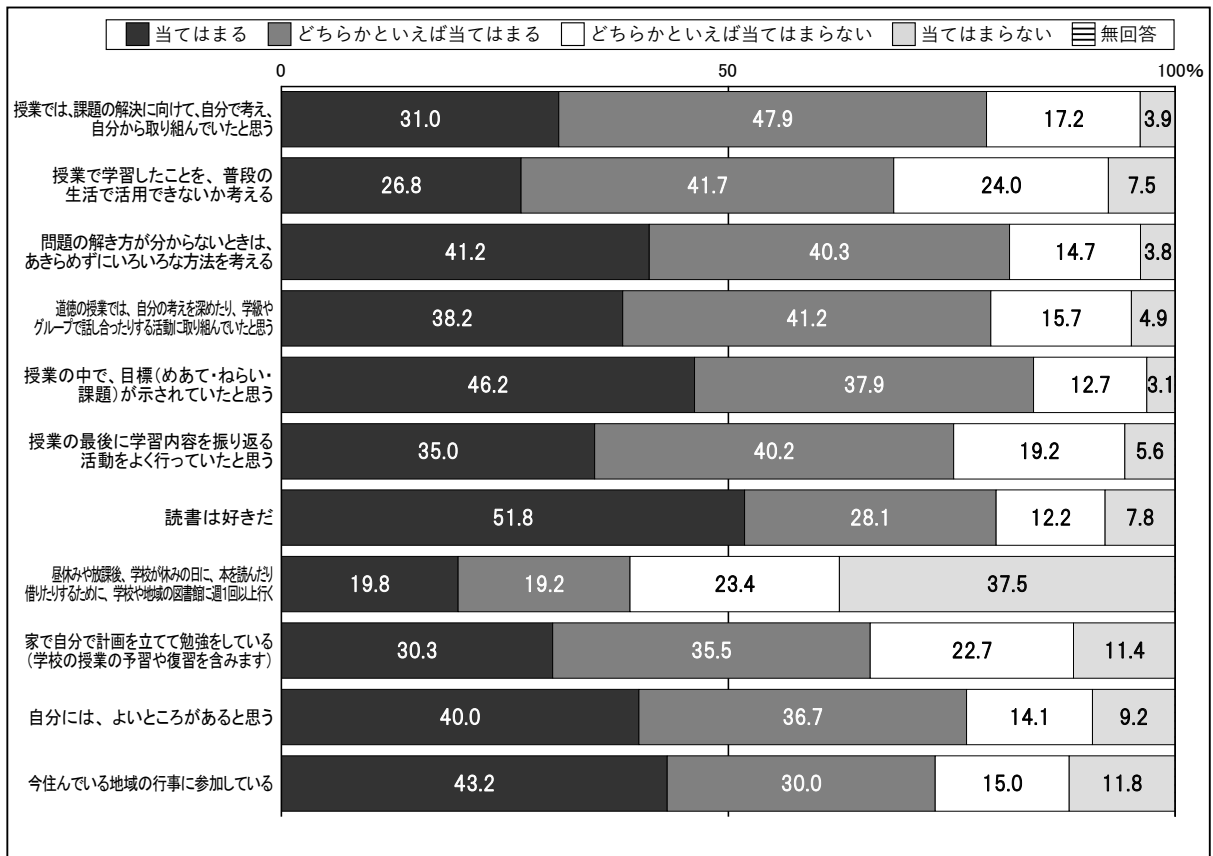
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

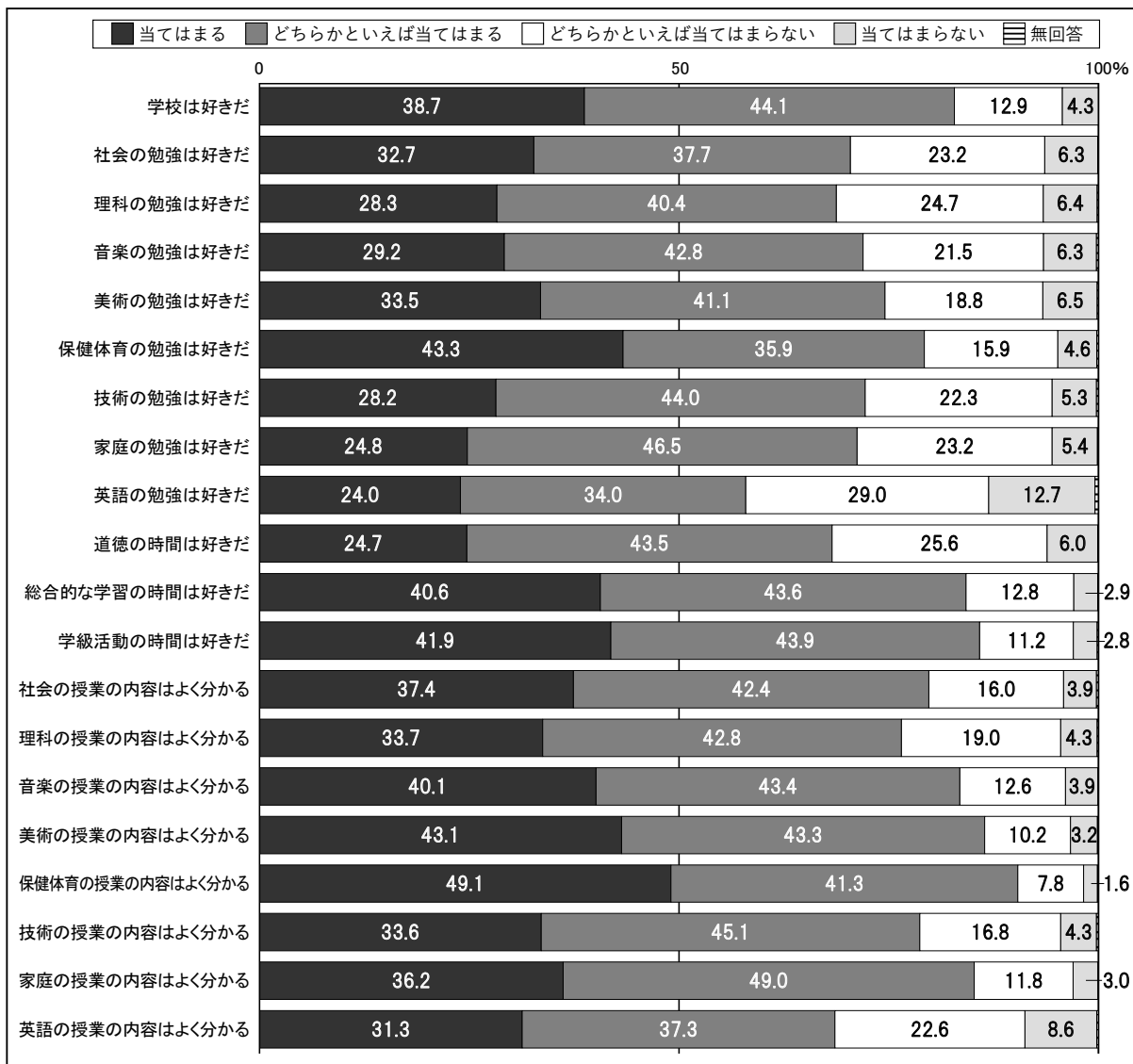


3 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

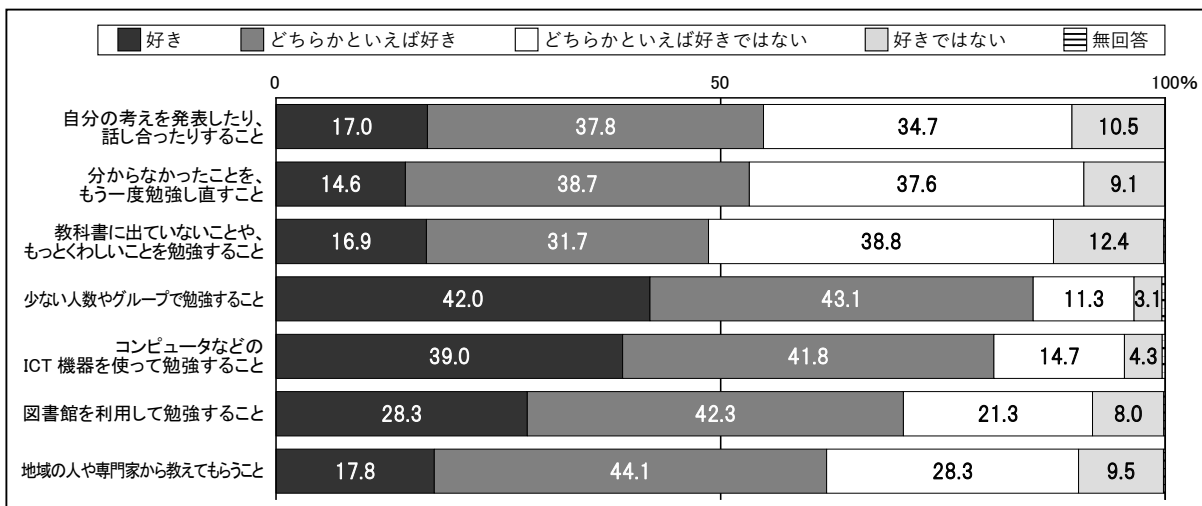


《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：84校（2,371人）

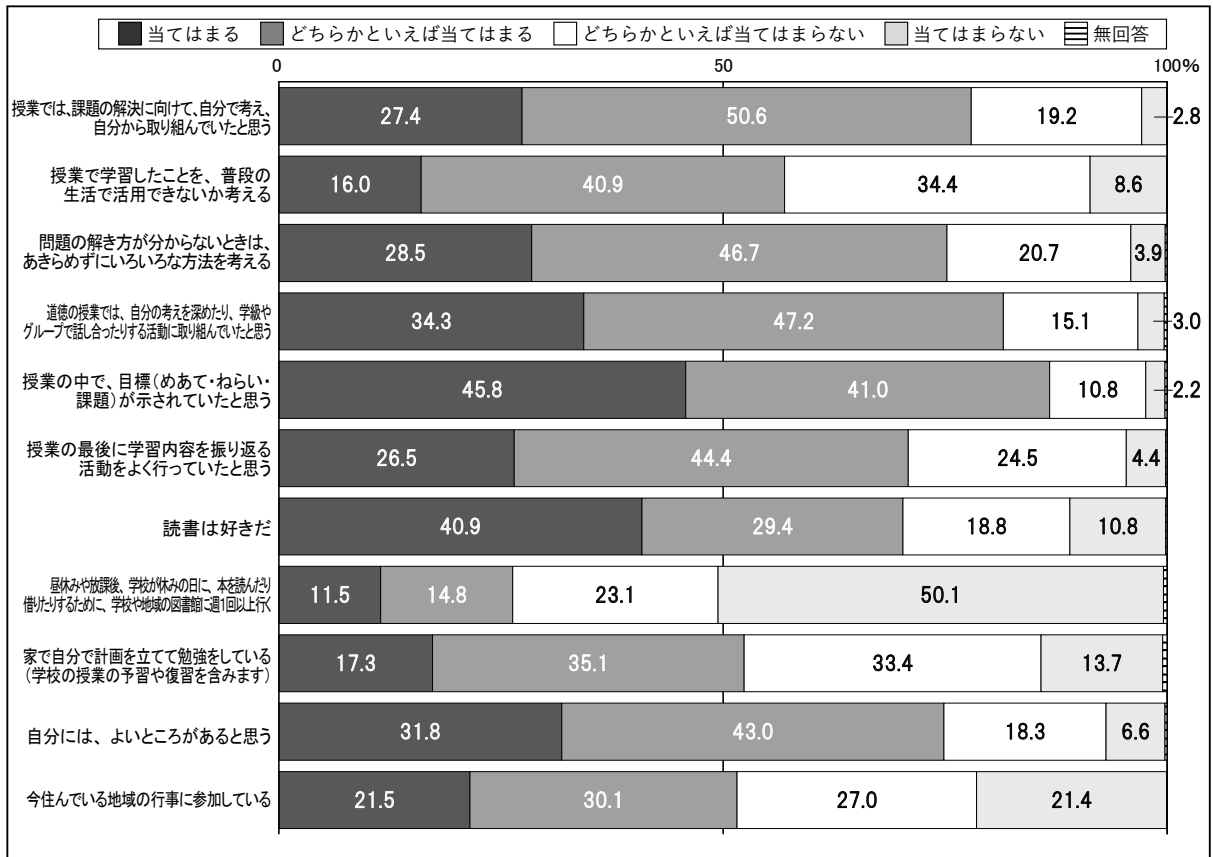
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



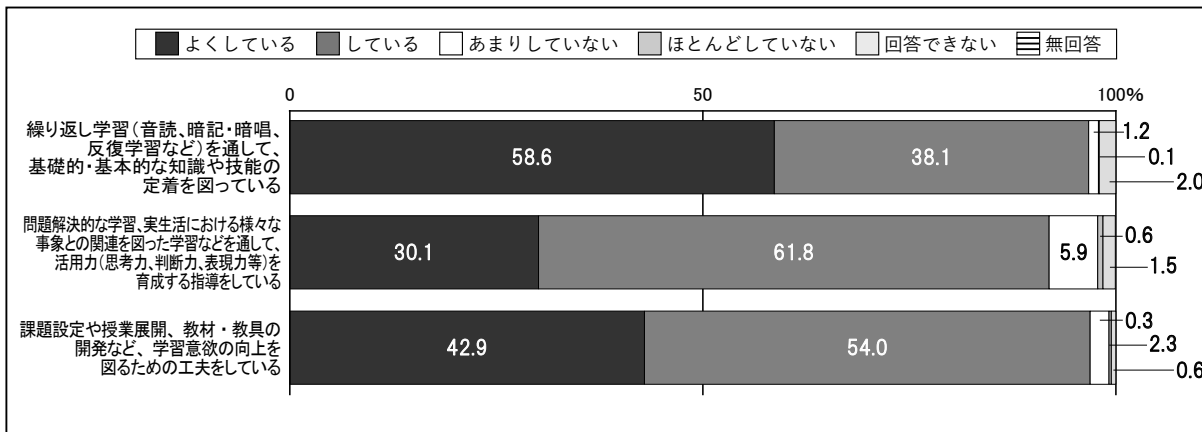
3 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



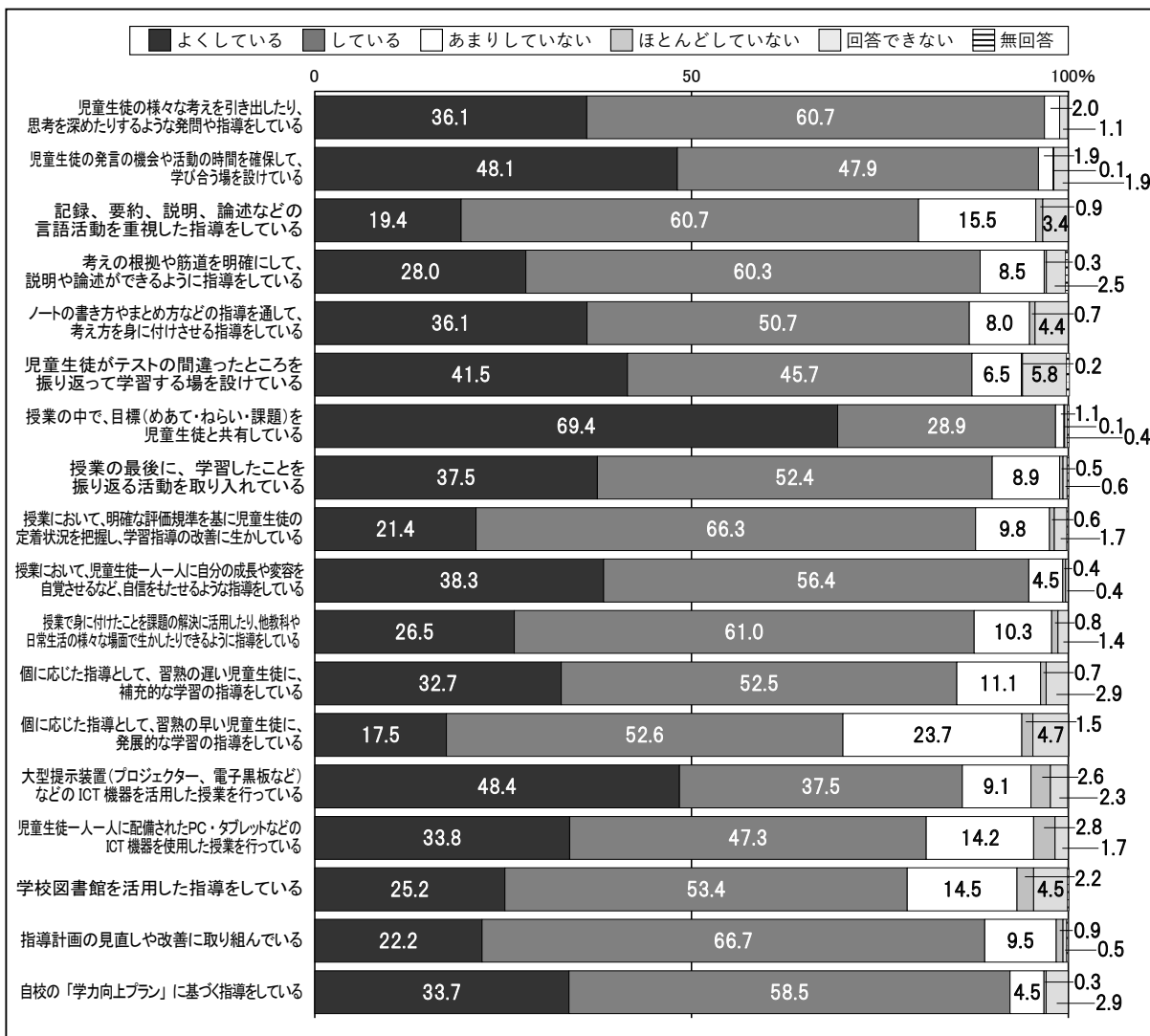
《小学校教員》 抽出校数（教員数）：65校（1,088人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

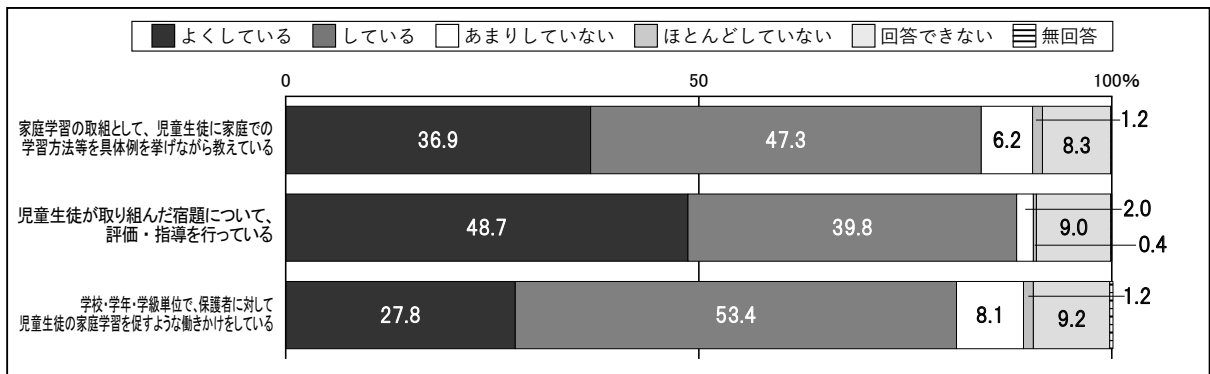
1 学力の重要な要素に関すること



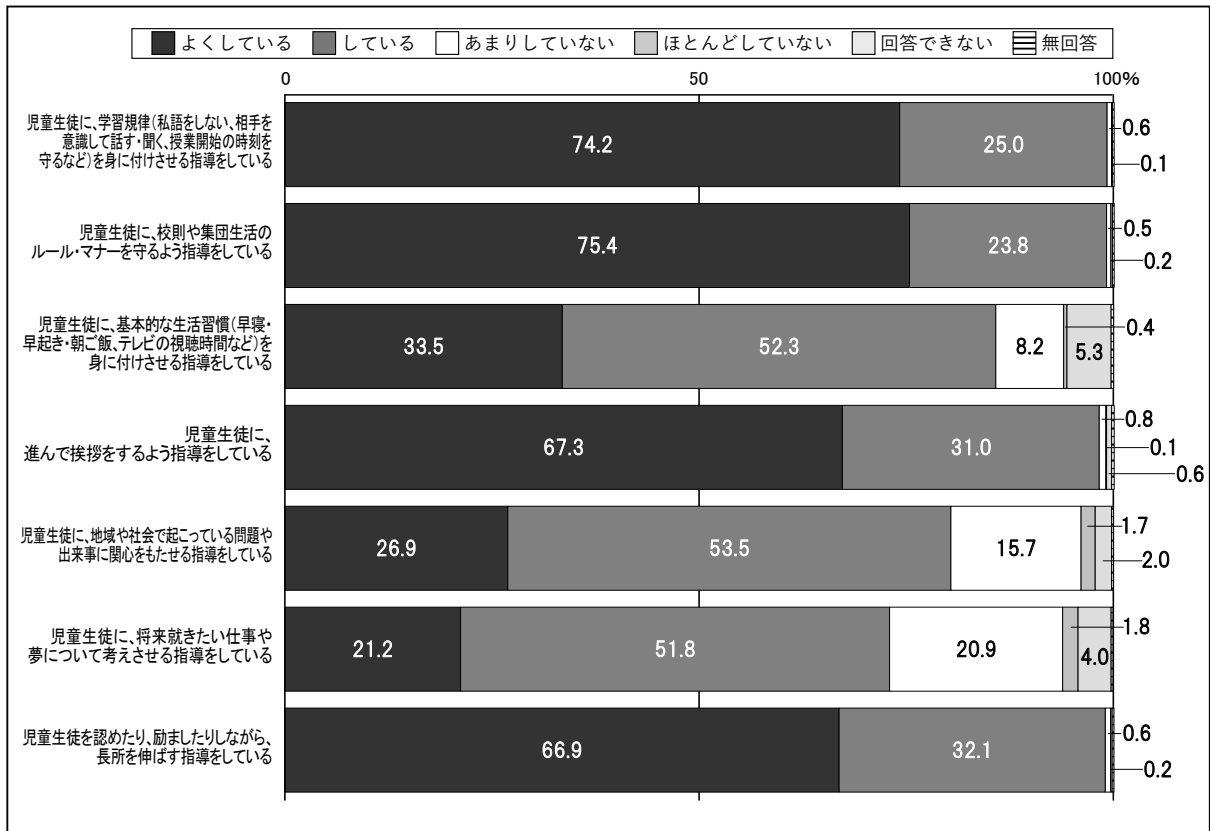
2 教科等に関すること



3 家庭学習に関すること



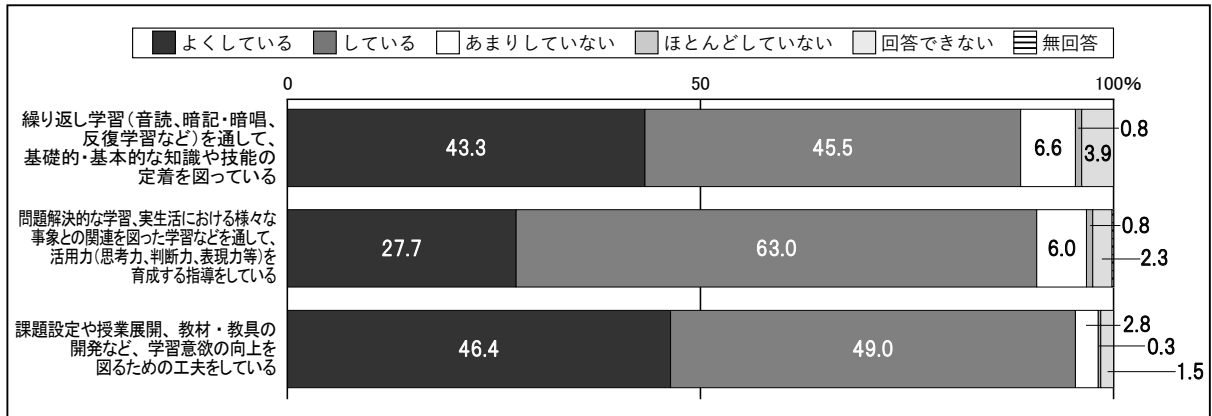
4 学習規律等に関すること



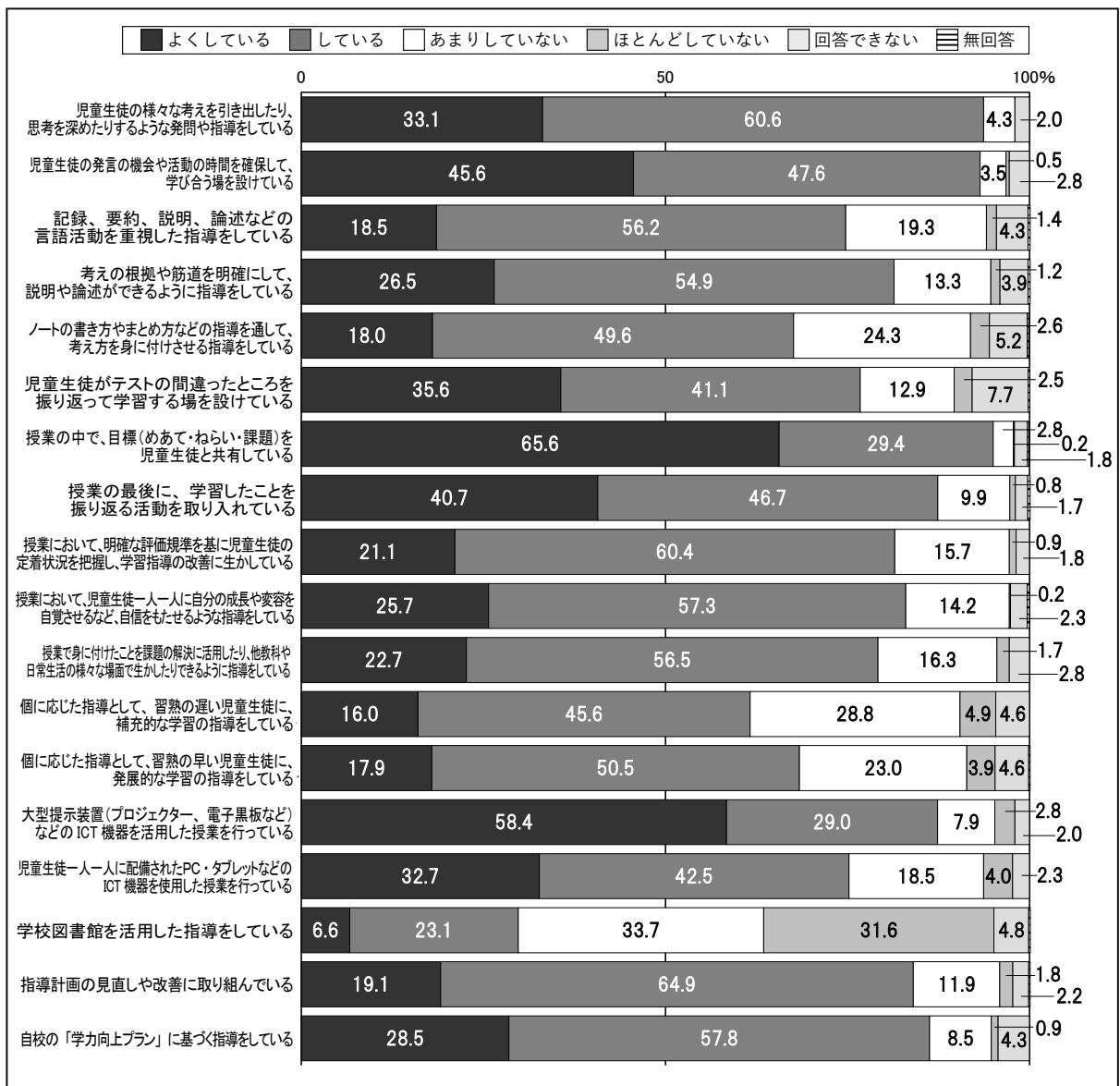
《中学校教員》 抽出校数（教員数）：33校（649人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

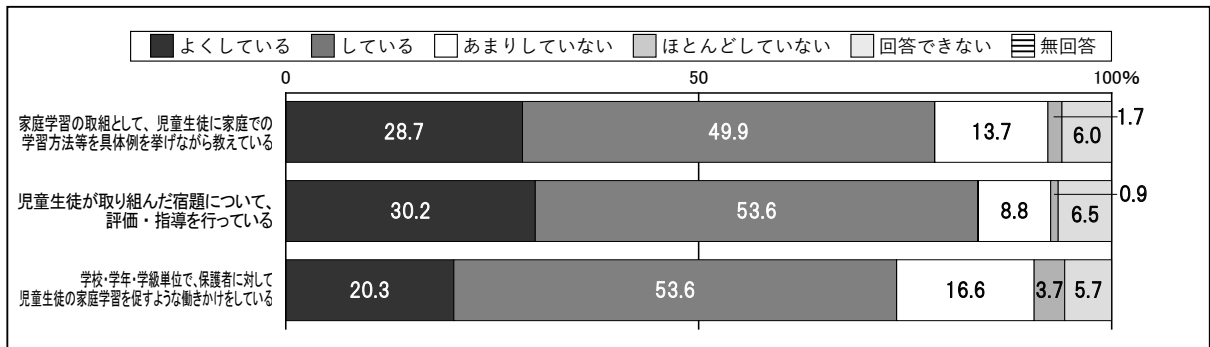
1 学力の重要な要素に関すること



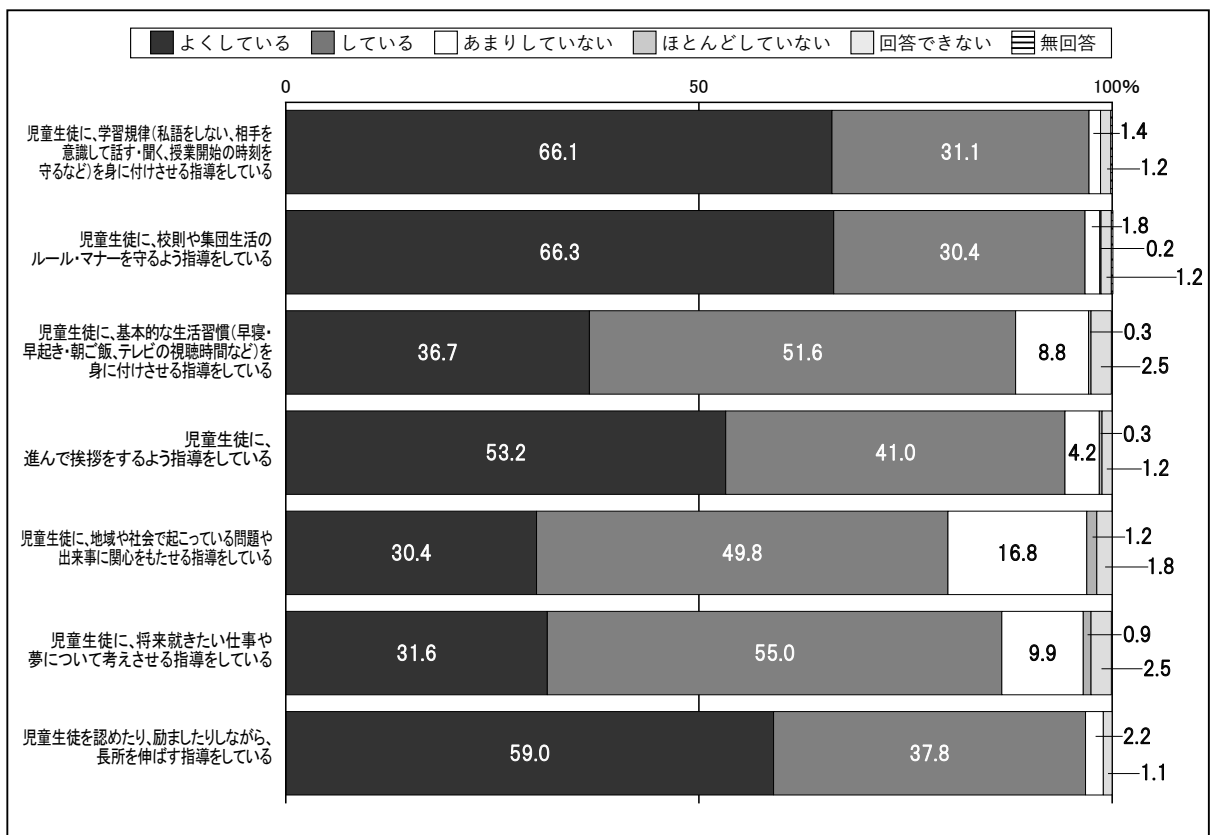
2 教科等に関すること



3 家庭学習に関すること



4 学習規律等に関すること



令和5年度

「基礎学力調査」－結果の概要－

令和5年7月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp